

情報発信・合意形成に関する検討部会 作業計画（案）

1. 国立公園利用・環境教育等の推進方策に関する検討

< 主要検討テーマ >

- ・ 阿蘇の草原の保全・再生に向けては、農業との連携が不可欠であるとともに、地域の人々による草原の価値の再認識や、広域的支援も必要である。
- ・ そのため、国立公園や草原を環境教育・自然体験等の場として活用し、地域内外の交流を促進しながら、幅広い層に阿蘇の草原に対する理解促進、保全・再生に向けての理解と協力を得ていくための方策を検討する。

< 作業・検討項目 >

草原利用・環境教育等の推進に関する基本的考え方の整理（資料3参照）
「牧野の開放・ふれあい利用検討会（仮称）」の開催（資料4参照）
モデルツアー／イベントの企画・実施の支援（牧野組合等との協力による国立公園内の草原を活用した環境教育／学校教育との連携による企画／ワーキングBの検討と連動したツアー等）
基盤となる施設整備等に関する検討（プログラムの実施や普及啓発、人材育成等に必要な草原保全・活用の拠点、草原維持管理見本園、園路等の整備についての検討）



2. 情報の発信と共有

< 主要検討テーマ >

- ・ 阿蘇の草原保全・再生に向けた活動を、地域内外の多くの主体や人々の参加・協力により、継続的かつ地域に根付いた取り組みとしていくため、阿蘇郡内や流域関係者をはじめ、幅広い層に対する情報発信・普及啓発活動を検討する。
- ・ ワーキングA、Bでの検討内容を含めて情報発信を行い、幅広い関係者間での情報の共有化を図る。

< 作業・検討項目 >

情報発信に関する基本的考え方の整理（資料5参照）
「阿蘇草原再生ホームページ」の開設（資料6参照）
パンフレット・ニュースレターの発行、新聞折込等（阿蘇自然再生事業の必要性や意義等を情報発信するためのパンフレットの作成（15、16年度各1回）／当事業でのトピックスを紹介するニュースレターの発行（年2～3回）／その他、地元住民を対象とした広報の新聞折込、新聞広告掲載等）
シンポジウム等の開催（国立公園指定70周年記念と合わせた、阿蘇草原再生シンポジウムの開催（16年度））



自然再生事業への合意形成

平成 15 年度 情報発信・合意形成に関する検討部会（WC） - 開催フロー（案）

